

## -----記入ガイド-----

様式第1号（第7条関係）

### 真庭市持続可能なまちづくり拠点整備事業補助金 企画提案書

企画書の記入に当たっては、必ず「募集要項」と「記入ガイド」をご覧ください。

フォント：黒色のみ、10.5ポイントまたは11ポイント  
枠の大きさは変更不可です。記入事項は必ず枠内に収めてください。  
※申請団体の定款、規約または会則を添付してください。

コメントの追加 [まちづくり1]: 記入ガイドは例を示していますが、理想的な記入例を示すものではありません。あくまでも参考としてください。

#### 1. 事業名 第4条に係る補助対象事業の（1）～（3）を記載ください（当てはまるものすべて○）

事業名	(1) 地域内外の多様な人々の参加の仕組みや交流機会を構築する拠点整備事業 (2) 地域資源を活用し、新たな事業モデルの実現につながる拠点整備事業 (3) 地域課題解決に結びつく新たな事業を地域に提供するための拠点整備事業
-----	---

#### 2. 実施団体名

団体名	ごちゃまぜの会
-----	---------

#### 3. 拠点整備実施施設所在地

所在地	真庭市●●
-----	-------

※記入された所在をもとに遊休の確認・調査に伺います

#### 4. 事業実施期間

期間	2021年8月起工～ 2022年2月完了
----	----------------------

#### 5. 収支予算

##### (1) 収入

単位：円

項目	金額	備考
市補助金	2,000,000	
自己資金	900,000	
合計	2,900,000	

コメントの追加 [まちづくり2]: 最大200万円までです。支出総額の見積書が必要となりますので、その財源内訳を記入してください

##### (2) 支出

単位：円

項目	金額	備考
改修費	2,500,000	
備品	400,000	棚・机・イスほか
合計	2,900,000	

※詳しい見積もりは別紙で確認します。類似項目をまとめて明記した内容で結構です。

-----記入ガイド-----

6. 事業実施後の展望

①. プロジェクトデザイン「中長期目標」から「活動」までのつながりを意識しながらご記入ください

<p>拠点を作ることで起こる中長期目標(プロジェクトの先に目指す5年後の地域コミュニティの姿)</p>	<p>〇〇高校前にインターネット環境を整備したシェアオフィス(もう少し緩いたまり場のような施設)を整備する。</p> <p>そこを活用して、コロナ禍でリモートワークという働き方に近づいた方、交通機関待ちの高校生、子どもを学校や子ども園などに預けた後の時間で仕事をしたお母さんなどが、それぞれのよい時間に集い、その集いの中からそれぞれの能力を生かした新しいプログラムが生まれる。</p> <p>それぞれの個人の能力を生かした「まち」を元気にするアイデアを企画できる空間を提供し、駅やバス停と高校やスーパーマーケットという、それぞれの行動パターンの往来であるバラバラの点をつなぎ、アイデアが創造されジェンダーや世代を超えた関係性が結ばれる。</p> <p>新たな「集い」が計画するプロジェクトに賛同する人が増え、みんなが笑いと幸せで包まれる。「みんな」は、まちを好きになり、まちで何かしたいという人が増える。</p> <p>うわさを聞きつけたソーシャルワーカーがやってくる。</p>			
<p>拠点的活用で起こるアウトカム目標(5年後までに達成したい状況・成果と指標および目標)</p>	<p>〈アウトカム1〉 「たまり場」に集まるリモートワーク従事者・高校生・子育て中のお母さん・地元の方ほか50人程度が、地域の応援団になる。</p> <p>〈アウトカム2〉 年に4回行う「まにわ未来計画」の企画に、市民団体・高校生・お母さん・地元の方が一緒に参加するとともに実践する。</p> <p>〈アウトカム3〉 「高校生の部室」に参加する高校生10名以上の輪ができる。</p> <p>〈アウトカム4〉 子育て中のお母さんが集い、それぞれが持つノウハウを活用して、自分たちも楽しく子育てにも役立つ企画をつくり実践していく。</p>			
<p>アウトプット(活動の直接の結果目標)</p>	<p>① たまり場の開館 ⇒週5日開館</p>	<p>② まにわ未来計画 ⇒月1回開催</p>	<p>③ 高校生の部室 ⇒年2回実践</p>	<p>④ 子育てママサロン ⇒年2回実践</p>
<p>主な活動</p>	<p>シェアオフィス貸出、サロン貸出、高校生の居場所づくり</p>	<p>イベント企画 DIY企画 仲間さがし 高校生企画</p>	<p>まちあるき 聞き書き 動画作成 SNSで真庭発信</p>	<p>赤ちゃん先生 まにわくんトライ 私のレシピ ママ母話の会</p>

コメントの追加 [まちづくり3]: 少し先の未来が、プロジェクトによってどのように変わっているかがポイントになります。

コメントの追加 [まちづくり4]: プロジェクトによりどのようなことが起これば成果となっているかがポイントです。指標も記入してください。  
※プロジェクトには「地域に開かれた仕事づくり」につながるものが重要です。

※アウトプット①～④すべてに記入しなくて結構です。5つ以上ある場合は複数まとめて記入ください。

## -----記入ガイド-----

### ②. プロジェクト実施内容の詳細

②-1 活動内容 助成期間内に実施する活動内容の詳細について、「①.プロジェクトデザイン」に記載した期待するアウトプットごとに、(A) 実施内容の説明、成果指標と目標、(B) プロジェクトチームメンバー内の実施責任者、(C) 鍵となる協力者/団体を含めてご記入ください。

コメントの追加 [まちづくり5]: 以下は枠の大きさを変えてもかまいません。

- ①たまり場開館 さまざまな人がリモートワーク・シェアオフィス・空き時間のサロンなど活用できる場を提供して利用者であり仲間をつくる。その仲間運営できる体制をつくる。  
 (A) 週5日開館・常時仕事での利用者3人、頻度の高い高校生10人、お母さん5人  
 (B) ●● 太郎 (C) ◎◎
- ②まにわ未来計画 さまざまな働き方・世代の利用者交流会。それぞれのノウハウ・アイデアや人脈を活用して、まちが楽しくなるイベント等を企画し実施していく。  
 (A) 月1回の交流会 企画等実践年4回  
 (B) ○○ 花子 (C) まちづくり団体
- ③高校生の部室 高校生のアイデアを支援し、高校生の活動の場をつくる。  
 (A) ②の企画の手伝い年2回 高校生企画の実践年2回  
 (B) □□ 垂矢 (C) まちづくり団体・だっぴ・聞き書き甲子園
- ④子育てままサロン 子育て中のお母さんの視野を開いていく活動。お母さんの持ち味を生かして、楽しくなる企画・小さななりわいづくりを応援する。  
 (A) サロン企画月1回 企画実践年2回  
 (B) ◎◎ 弘子 (C) お母さん応援団

### ②-2 プロジェクトチームメンバー・外部専門家

氏名	年齢 (○○代)	所属・肩書	プロジェクト 内の役割	参加度 (1~3)
●● 太郎	40	ごちゃまぜの会	代表者	1
○○ 花子	30	ごちゃまぜの会	連絡責任者	1
○○ 義男	30	ごちゃまぜの会	会計責任者	1
□□ 垂矢	30	ソーシャルワーカー		2
◇◇ 裕也	40	デザイナー		2
◎◎ 弘子	30	ままははの会		2
△△ 敏夫	40	○○高校教諭		3
▽▽ 治司	60	地元○○自治会		3
◎◎ 善弘	50	大工		3
○○ 浩之	40	自営業		3

コメントの追加 [まちづくり6]: 多い方が「多様な人々の参加や交流機会」を説明しやすくなります。

※1「関わり合いの度合い」は、1がコアメンバー（全体の企画・運営管理）、2が特定の活動に深く関わってもらうメンバー、3が協力の意思を表明している方や助言を求める専門家

## -----記入ガイド-----

### ②-3 プロジェクトを実施する組織の概要

設立年月、法人格、代表者氏名、事業内容、メンバー数、財政規模、活動実績など

設立年月： ○年○月 法人格：任意団体  
代表者氏名：●● 太郎 メンバー数：6名〈固定はしていない〉  
事業内容：業種や世代を超えた交流をしながら「まち」の元気につなげる活動を実践  
財政規模：○○○○  
活動実績：○○○○

### ②-4 プロジェクトで生かす活動対象地域の魅力・強み・地域資源

○○地域は、駅・高校・店舗など集約された都市機能に恵まれている。人の往来も多く○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○。また、まちなかには路地・水路・古民家など○○○○○○○○○○  
○○

7. 本プロジェクトを通じて解決が期待される地域課題 「①.プロジェクトデザイン」で掲げた中長期目標実現に向けて、本プロジェクトで取り組む仕事づくりや未来の担い手育成によって解決につながることを期待される地域課題についてご説明ください。

プロジェクトで取り組む課題に対して、対象地域の状況やそのような状況をもたらしている要因（根本原因）などわかるようご記入ください。

### 8. 代表者のメッセージ

「自分たちはなぜ、この活動を実施するのか」など、上記欄で伝えきれなかった代表者の率直な想いをメッセージとして自由に記入してください。

-----記入ガイド-----